

# 平成27年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

## 1. 基本情報

1003

<b>施設名</b>	伊丹市立美術館		
<b>施設の設置目的</b>	市民の美術に関する知識及び教養の向上並びに芸術の振興を図る。		
<b>伊丹市総合計画（第5次）における関連施策</b>	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
<b>指定管理者の名称</b>	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 <small>（団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内</small>		
<b>選定方法（公募・非公募）及び指定期間</b>	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
<b>管理運営上の目標</b> <small>（管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標）</small>	指標名	展示事業数 <span style="float: right;">（単位： 回 ）</span>	
	指標の意味	年間の展示事業数	
	今年度の目標値	8	通期の実績値 7

## 2. 利用状況

利用状況等の推移	H17※	H23	H24	H25	H26	H27 (上期)	H27 (通期)
	来館者数(人)	12,727	37,168	31,688	22,378	25,214	67,197
延べ事業開催回数(回)	6	39	28	21	54	10	16
延べ事業参加者数(人)	12,727	37,168	32,188	22,397	25,866	67,197	82,714

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

## 3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況  <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	68,509	指定管理委託料	69,055
	事業収入(講座料収入等)	5,279	事業収入(講座料収入等)	17,065
	利用料金	13,723	利用料金	37,322
	合計	87,511	助成金	
	合計	87,511	合計	123,442
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	31,647	人件費	31,922
	維持管理経費	16,661	維持管理経費	22,135
事業等経費	39,203	事業等経費	54,412	
合計	87,511	合計	108,469	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	14,973	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※  <単位:千円>	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	0	0	0	0	0
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0
	市の支出	69,912	66,619	72,567	115,624	74,936
	（内、指定管理委託料）	65,676	65,756	66,800	67,089	69,055
実質経費（歳出－歳入）	69,912	66,619	72,567	115,624	74,936	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業務の業務水準が下がらないよう、仕様書による点検を随時実施している。また、伊丹市環境マネジメントにもとづき、節電等徹底した環境への配慮に取り組んでいる。	A	館内は常に清潔に保たれており、アンケート結果も高評価である。施設の老朽化が進行していく中で、維持管理について市と適宜協議しながら協定書・仕様書に基づき、適切に行われている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	救命救急講習によるAEDの操作法等の習得をはじめ、接遇等の自主研修の開催や各種研修への積極的な参加を行っている。	B	接遇や能力研修などの他、救命救急講習(AED)などにも参加し、能力向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を整備し、年2回の防災訓練を消防局立会いのもと実施している。	B	みやのまえ文化の郷で施設間の連携を図っている。また防災訓練も適宜実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施し寄せられた意見・要望に対し、迅速な対応を行っている。職員はもちろんのこと委託業者にもサービスの向上に努めるよう指導している。	A	アンケート結果をもとに、みやのまえ文化の郷内で定期的に情報交換を行っており、迅速な対応や指定管理者の特性を活かしサービス向上に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	アンケート結果等に基づいた展覧会内容及び新たな講座を開催し、好評を得ている。	A	誕生50周年人気作品「ぐりとぐら展」を開催し、開館以来最高の入場者数となった。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	電子データ等の情報管理は厳格に行い、持ち出しは一切禁じている。またHPの充実および広報に積極的に取り組んでいる。	B	ホームページや広報紙だけでなく、各種メディアや団体等に対し情報提供を行っているが、今後さらなる事業PRの拡充を図っていただきたい。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行している。	B	収支計画に基づき、適切に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

<b>施設所管課総評</b>	美術館開館以来、最高の入場者数となった「誕生50周年記念 ぐりとぐら展」をはじめ、「没後30年 鴨居玲展—踊り候えー」など、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる展覧会を工芸センターと共同開催するなど、みやのまえ文化の郷に有効的活用と集客力の向上を図っている。
<b>総合評価</b>	
<b>B</b>	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・2階から地下への各展示室への導線がわかりにくい。	・各展示室への常設の案内表示板に加え展覧会ごとの案内を増設。
	・ドームエなどのコレクションが特別展で見られなかった。	・所蔵品展の充実とともに特別展に館蔵品を組み合わせて紹介する。
	・写真撮影可の場所と不可の場所を明確にしてほしい。	・写真撮影についてのガイド表示を各展示室前に設置。
回答者数	・日本庭園の手入れが行き届き気持ちが良い。	・今後も職員、委託業者ともに維持管理に努める。
1259	・他館にないユニークな企画が多く楽しみにしている。	・ユニークかつ幅広い層に親しまれる展示を今後も工夫。
	・親子連れ、団体客の鑑賞マナーを徹底してほしい。	・展覧会ごとに統一したガイドラインを作成し注意の仕方を徹底周知する。
	・写真展をまた開催してほしい。	・次年度企画で写真展の開催を予定する。

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし。	